

しよれと

Palette

11

2020 November

vol.243

特集「地域くらし活性化計画」

～豊かで暮らしやすい地域社会の実現を目指して～

農を担う
イチゴ農家 矢部 和弘 さん

可知地区……………10ページ

<https://www.ja-okayama.or.jp/>

JA岡山は、組合員募集中です！

耕そう、大地と地域の未来。



特集

「地域くらし活性化計画」

当組合は、平成26年より「JA岡山くらしの活動推進方針」を制定し、地域に根ざした活動に取り組んでいます。令和元年度からの3力年はさらに具体的な取り組みを定め「地域くらし活性化計画」を策定し、「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」を目指して、今月号では、計画に基づいて策定した重点取組事項と取り組み状況についてご紹介します。



JA岡山くらしの活動ってなに？

「JA岡山くらしの活動」とは組合員・地域住民の皆さまとともに「豊かで暮らしやすい地域社会の実現」を目指して、食農教育活動や高齢者福祉事業などのJAの総合事業を通して地域の農業やJAにより興味を持っていただき、地域をサポートし、またJA自らも取り組んでいく活動です。

3つの方針を制定し地域に根ざした活動に取り組んでいます。

- (1)「地産地消」の取り組みを通じて、「食と農業」のつながりについて理解促進を図るとともに、次代を担う子どもたちを対象とした農業体験学習を進め、次世代への農業理解の醸成と食農教育の実践に取り組めます。
- (2) 地域コミュニティの活性化に貢献するため、支所等を拠点とした「場」の設定と提供を行い、JAが組合員・地域住民とともに地域を元気にする活動に取り組めます。
- (3) JAの事業活動や女性部活動への参加促進を図るための集いの場を提供するとともに、女性のJA運営参画を進め、女性ならではの視点による地域に根ざしたJAの事業活動に取り組めます。



地域くらし活性化計画

「JA岡山くらしの活動」に基づき、新たに令和元年度からの3力年の具体的な取り組みを定めたもので、総合事業の機能・役割をさらに発揮し、地域の活性化に取り組むことを目標としています。当組合では、組合員・地域住民の健康増進活動や幅広い協同活動推進の中核となる生活文化活動を円滑に行うことを目的に、各支所・営農センターに生活文化活動担当者を置き、積極的な活動に取り組んでいます。

重点取組事項を通して、組合と組合員・地域住民が相互扶助の理念の共有化を図り、これまで以上に組合事業への理解と参加を促進します。

重点取組事項

- (1) 食農教育活動を通じた地域コミュニティの活性化
- (2) 総合事業を通じた生活インフラ（生活基盤）機能の発揮
- (3) 支所等を拠点とした「JAくらしの活動」の実践
- (4) 正・准組合員とのメンバーシップの強化



重点取組事項(1)

食農教育活動を通じた地域コミュニティの活性化

●取組内容

女性部・生産者組織・青壮年部や行政・企業と連携し食農教育の場を作り、地元農産物への理解促進や消費拡大に取り組んでいます。

●活動内容

・JA岡山食農教育イベント「家族でチャレンジ！収穫体験&クッキング」

JA岡山管内の小学生を含む家族を対象に、収穫体験や料理教室を通して地元農産物のPRや地産地消、食文化の継承を図ることを目的に開催しています。また、収穫体験を通して「農業と食の大切さ」を伝えるとともに、農業と親しむ機会の少ない消費者との交流を深め、農業への理解とJAファンづくりを行っています。
・「親子料理教室」、「ちやぐりんフェスタ」等

JA岡山女性部と連携し、料



理教室を通して「食と農」の大切さを伝え、農業・JAへの理解を深める活動として取り組んでいます。また、JAグループの食農教育をすすめる子ども雑誌「ちやぐりん」の記事を活用し学習活動も行っています。

●令和元年度実績

食農教育活動参加者…1,230人

重点取組事項(2)

総合事業を通じた生活インフラ(生活基盤)機能の発揮

●取組内容①

組合員・地域住民にさまざまなサービスを提供し、安心して暮らせる地域づくりに総合事業を通じて貢献します。



●活動内容

・相談活動

税理士による税務相談会や所得税、消費税の確定申告支援を実施するなどJA岡山青色申告会を基軸とした税務相談に取り組んでいます。

・健康増進活動

組合員および地域住民を対象に、生活習慣病の早期発見と疾病予防を目的とした健康活動(組合員健康診断)や健康づくり教

室、体操教室などの健康教育活動を行っています。

・組合員・利用者サービスの強化

JAの特色を生かした相談機能の充実に努め、組合員・地域住民の皆さまの視点に立った活動を行っています。

●令和元年度実績

令和元年度の実績は次のとおりです。

税務相談会…18回
確定申告件数…2,527件
組合員健康診断…1,211人(35会場)
年金相談会…20回
ローン相談会…116回

●取組内容②

組合員・地域住民が健康で安心して暮らせるよう健康寿命を創造する「JA健康寿命100歳プロジェクト」を実践するとともに、行政・他団体との連携により高齢者支援に取り組んでいます。

●活動内容

「JA岡山助け合いの会かがやき」会員の協力のもと、組合員・地域住民を対象としたミニデイ

サービスやサロン、地域の茶の間「みんなのお家」を開いています。

●令和元年度実績

令和元年度の実績は次のとおりです。

ミニデイサービス…22回、利用者381人、協力会員100人
サロン…129回、利用者1,787人、協力会員372人
地域の茶の間「みんなのお家」…47回、利用者695人、協力会員208人



重点取組事項(3)

支所等を拠点とした「JAくらしの活動」の実践

●取組内容

支所・営農センター等を拠点として、全支所で各々の地域特性をふまえたニーズ、ライフスタイルに応じたJAくらしの活動を実践し、組合員や組合員家族、地域住民との接点づくりに取り組んでいます。

●活動内容

地域の小中学生を対象に、田



植えや稲刈りなどの農業体験や出前授業などを行っています。また、地域のまつりへの参加、グラウンド・ゴルフ大会の実施、支所・営農センターだより等で地域の話題をお届けしています。

●令和元年度実績

全支所・営農センターで191件の活動を行いました。

重点取組事項(4)

正・准組合員とのメンバーシップの強化

●取組内容①

地域住民の協同組合への理解



を深める活動を展開し、女性部組織などの活性化に取り組んでいます。

●活動内容

広報誌や支所・営農センターだより等で活動内容を周知し、女性部やフレッシュミズへの加入促進を行っています。

●令和元年度実績

令和元年度の実績は次のとおりです。

女性部20支部 2,823人
フレッシュミズ6支部 64人

●取組内容②

地域住民との接点が多い農産物直売所等を拠点に、地元農業やJAの活動を発信し、地元農業応援団づくりに取り組んでいます。

●活動内容

「コミュニケーションあぐろぐOKAYAMA」の発刊や女性部・生産者組織・青壮年部と連携し、農産物直売所でのイベントの開催を行っています。

●令和元年度実績

令和元年度実績では、コミュニケーション誌を年2回発行し、各18万5千部を新聞へ折込み、農産物直売所に4,350部配付しました。

予 告

ぱれっと12月号ではSDGsについてなにごとを掲載予定です。

作業効率を上げ、 高品質なイチゴづくりに励みたい

矢部 和弘さん

可知地区：イチゴ農家

「やべ かずひろ」

昭和32年生まれ。㊦西大寺いちご部会所属。イチゴ、米麦を経営。妻、息子夫妻、孫3人の7人家族。趣味はDIY（何かを作ること）。座右の銘は「一生懸命」。



イチゴの生育具合を確認

て、20年前にイチゴの栽培を始めました。イチゴは広い年代に親しまれていることや作付できたその年から収穫できることが魅力でした。初期投資がかさむため、最初のうちは大変でしたが、必要な道具などを自分で作り節約に努めています。

9月24日、可知地区のイチゴ農家の矢部和弘さんにお話を伺いました。

親のほ場を引き継ぐ

―就農したきっかけは

我が家は昔から米麦農家で、子どものころから手伝いをして育ちました。

以前は勤めに出ていましたが、農繁期には手伝いを続けていました。仕事をした分だけ収入に繋がる職に就きたいと思い、親のほ場を引き継ぎ28年前就農しました。

―農業を始めてからは

初めは、米麦の栽培をしてい

現在は、「さちのか」と「おいCベリー」を作っています。「おいCベリー」は県が推奨している品種であり高値で販売でき、さらに大粒でパック詰めもしやすいため作業を効率よく行うことができます。

イチゴづくりに関しては受粉作業が一番重要です。形のよいイチゴにするにはミツバチの働きぶりが重要であり、手作業ではできないため、セイヨウミツバチを8千匹程放飼して受粉をしています。

―栽培上のこだわりは

できるだけ農薬を使わないことです。病害虫の被害を抑えるために、栽培管理日誌とは別に

スマートフォンアプリで日誌を10年間つけています。ほ場に手軽に持つていくことができ、過去のデータを見ながら、病害虫の対策をしています。害虫には天敵で対策をしており、上手くいったときは農薬を使わずでよいので、安全性と費用面でも助かっています。

作業効率を上げて 収量を増やしたい

―今後の抱負は

作業効率を上げて収量を増やしていきたいです。苗は1万株ほどありますが、手作業で植えるので大変です。部会の視察を通して、他県で取り組んでいる革新的な技術を少しずつ取り入れ、生産の効率化を目指したいです。

農業は勉強の連続なので、知識を増やし、おいしいイチゴを消費者の元に届けられるよう頑張っていきたいです。

聞き手…JA岡山広報担当



1日6回自動で灌水しています



農業への思いを語る矢部さん

野菜

大きな苗の定植はとう立ち注意！



営農部指導課
宮本 大輔

●タマネギの栽培

ユリ科の2年生植物で、栽培の歴史は古く、古代ギリシャ・ローマ時代に食用とされたと記録が残っているそうです。
日本では明治時代、北海道や大阪で栽培がはじまり消費の拡大に伴い各地で栽培されるようになりました。
1年中料理に欠かせない野菜ですので、早生から貯蔵用まで栽培してはどうでしょうか。

●畑の準備

定植2週間前に10平方メートルあたり堆肥25kg、石灰1kgを施用して深く耕し、定植1週間前ごろに野菜いちばん等1・2kgを土とよく混ぜます。酸性土壌を嫌います。

●追肥

定植から1カ月後に、10平方メートルあたり野菜いちばん等を400gを施用し除草を兼ねて中耕します。

1月下旬～2月上旬と3月上旬に速効性化成肥料(園芸化成s550等)1回に10平方メートルあたり400gを2回散布します。

●病害虫の防除

春先から4月にかけてべと病等の病気やネギアザミウマ等の害虫が発生しやすいので、登録農薬を散布します。
※農薬は、注意事項をよく読んで安全に使用しましょう。

●収穫

茎葉が70～80%倒れてきたら、収穫適期です。
貯蔵用では2～3日晴天が続いたら400gを2回散布します。

●灌水

冬に極端に乾燥する場合は、灌水を行い根の伸長を促します。春先の乾燥は玉の肥大を妨げるので灌水を行います。いずれも晴れた日の午前中に行います。

●苗の準備

育苗期間は、播種後50～60日です。早生品種では株元の太さが8mm、1本の重さが7gぐらいい、中生・晩生では、株元の太さが7mm、1本の重さが6gぐらいより大きい苗を定植すると、春にとう立ちしやすくなります。
購入苗で、中生・晩生種では貯蔵性のよい品種を選びます。

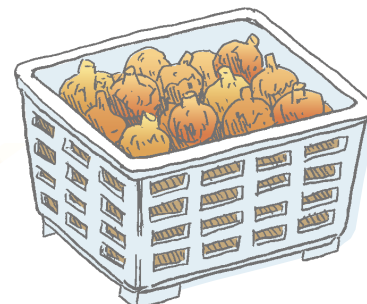
3月中旬以降に窒素質肥料を施用すると、草勢が強くなり、収穫後の貯蔵中の腐敗が多くなるので注意します。
根が深く張ることが重要ですので、春先の長雨に備えて、畑の周りに排水溝を設置して表面にたまる水の排水を促します。

いた日に抜き取り、2～3日畝の上で乾燥させてから、風通しのよい日陰に吊るして貯蔵します(資料2)。



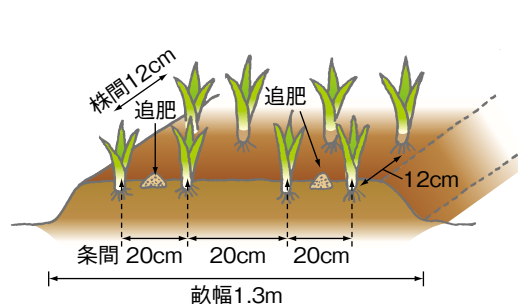
風通しのよいところに5株ぐらいつつまとめてつるす

資料2 貯蔵タマネギ



つるす場所がないときは茎葉を切除してあみかごに入れ、風通しのよいところに置く

資料1 タマネギの4条植え



花き



営農部指導課
中川 雄一

いよいよ気温が下がり冬に向かいます。冷え込む前に寒さに備えましょう。

●洋ランを屋内へ

(主な品目の特性や適温などは5月号をご覧ください。)

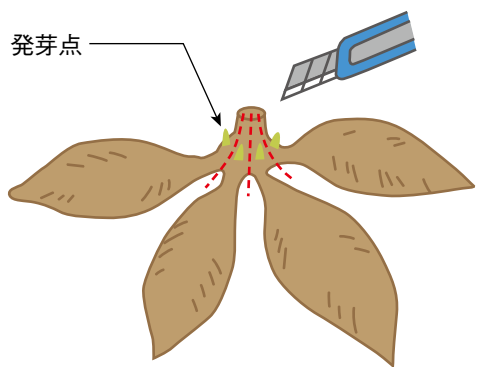
- ・低温が苦手なファレノプシスやカトレアは10月中に取り込んだ人が多いと思いますが、最低気温の目安は15℃くらいまでです。比較的低温に耐えるシンビジウムは最低気温が6～7℃になったら、デンドロビウムは6～7℃の低温に10日前後あててから屋内に移動します。
- ・室内の置き場所も温度に対する特性に応じて選びますが、デンドロビウムは暖房で高温になりすぎること(15℃以上)も避けましょう。日当たりのよい窓近くは夜温が下がるので、窓から少し離れた明るいところが安全です。

●ダリアの掘りあげ

ダリアは耐寒性が弱く、地表近くになった球根は寒さで傷むことがあります。簡略にはもみ殻などを厚めにかけてそのまま冬越しすることもあります。年放置すると球根が増えて切り分けにくくなります。また過湿で腐ることもあるので寒くなる前に掘り上げます。

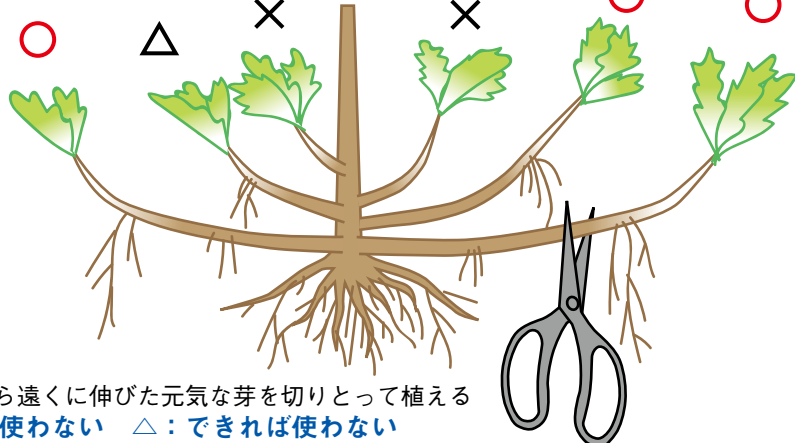
- ・茎を地際付近で切り取り、球根の範囲が広がっているのを傷めないように掘ります。
- ・ダリアの発芽点は球根と茎の付け根にあるので、茎につながらずに掘り上げます。
- ・土をふるって軽く水洗いして、日陰で1週間ほど置いた後、もみ殻やピートモスに土を混ぜたものとともに、ポリを敷いた段ボール箱などに入れて、5℃以下にならないところで保管します。
- ・もみ殻などを混ぜた土は、球根が乾いてしまわない程度にいくらか水分があり、通気のよい状態にし、ポリも上を合わせる程度で密封しないようにします。
- ・図のように、よく切れるカッターナイフなどで、茎にある発芽点をつけて球根毎に切り

資料3 掘り上げたダリアの株と球根の切り分け



よく切れる刃物で各球根に発芽点がつくように分ける

資料4 キクの冬至芽の発生



株から遠くに伸びた元気な芽を切りとって植える
×:使わない △:できれば使わない

葉などを取り除いて植えることで、新たな親株に養成します。この時、健全な株でできるだけの株から遠く伸びた元気な芽を選び、出ている根が付いた状態で切り分けて植えます。根がしっかりと出て茎が伸びている場合は芯を摘んでおきます(資料4)。親株床には緩効性有機化成肥料をいくらかすきこんでおきます(例:野菜いちばん100g/1平方メートル)。

果樹

冬季の管理で
品質と収量を
保持！



営農部指導課
小野 智寛

冬季から管理、対策を始めることで品質・収量低下等を防止することができます。

基肥や堆肥の施用は早めに行い、落葉の処理や施設の点検整備などもこの時期に行いましょう。

●果樹苗木植え付け

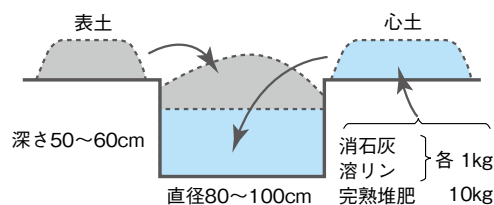
・苗木の準備

植え穴は、肥料等をなじませるため、定植予定の1〜2カ月程度前までに準備しておきます。

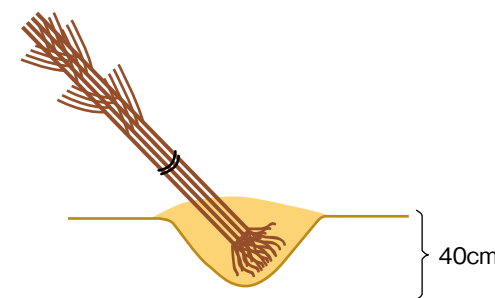
苗木1本につき、直径80〜100

資料5 苗木植え付け

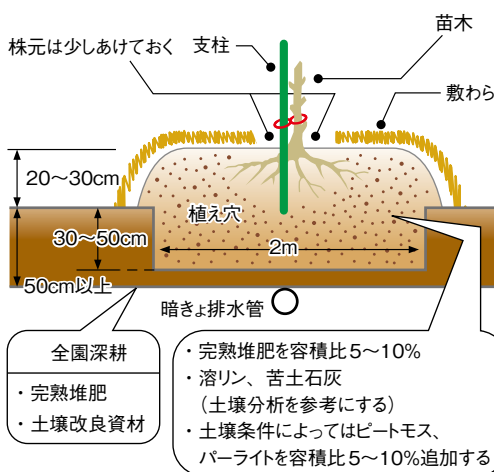
苗床の準備



苗木の仮植え



資料6 果樹苗木植え付け



- ・接ぎ木部を地上に出し、深植えにならないように注意する。
- ・切り接ぎ苗は、接ぎ木部の30cm程度上で切り返す。

移、深さ50〜60^{センチ}位の穴を掘ることになります。しかし、この深さまで掘るとなると大変なので、難しい場合は、深さ30^{センチ}程度は掘るようにしましょう。掘った穴には石灰類(消石灰・苦土石灰・苦土セル力等)、リン酸類(溶リン・リンスター等)各1^{キロ}と完熟堆肥(よく発酵したもの)10^{キロ}をよく混和して埋め戻し、踏み固めた後、表土を20^{センチ}程度盛り上げるようにしておきます(資料5)。ただし、ブルーベリーの場合は、酸性土壌を好むため石灰の代わりにピートモスを施用しましょう。

・植え付け

植え付けの位置に支柱を立て、根が交差しないよう四方に広げ、根の先端が下方になるように配置し、細かい土で軽く覆土し、直ちに十分灌水します。その後覆土を

十分にを行います。その際、台木との接ぎ木部以上は覆土しないよう注意しましょう。

植え付け後、株元に稲わらなどでマルチし、土壌の乾燥を防ぐとともに、生育初期の雑草を防ぎましょう(資料6)。

切り接ぎ苗は接ぎ木部から30^{センチ}程度のところで切り返し、支柱に誘引します。

●カンキツ類の収穫と貯蔵について

・収穫

早生温州は7割以上着色した果実を10月下旬〜11月中旬に、普通温州では8割着色した果実を11月中旬〜12月下旬に手でもぎ取ります。

夏みかんは2月ごろが完熟期ですが、寒さに当たると品質が低下するので、時期を早めて12月下旬〜1月上旬に収穫します。

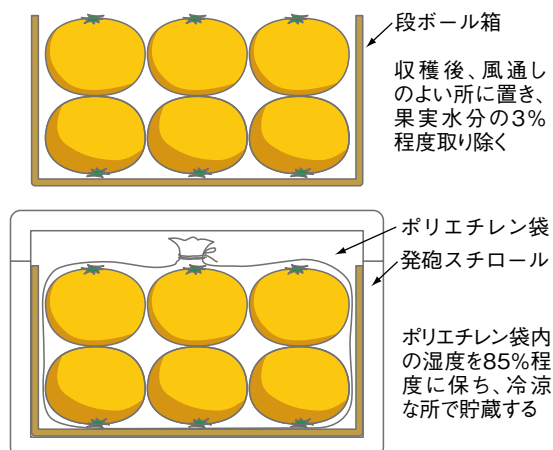
ユズは、7〜8割着色した10月下旬に果汁が最も多くなるので、果汁用はこの時期に収穫します。

・貯蔵

ミカンや八朔、夏みかんは収穫果を浅い容器に並べ、風通しのよい倉庫の棚に果実水分が約3%(100^{グラム}の果実が9^{グラム}になるぐらい)まで置いておきます。その後、資料7のように果実を並べた発泡スチロール箱をビニールで覆い、湿度を保ちながら冷蔵な所で貯蔵しましょう。貯蔵中は7日〜10日ごとに腐敗果を取り除きます。

ユズは10℃以下の冷涼な場所から12月まで貯蔵できます。また、温度3〜5℃の冷蔵庫でビニールに包み、湿度を90%に保てば3月下旬まで貯蔵できます。

資料7 カンキツ類の貯蔵



Recipe

旬のレシピ紹介



秋サケの小松菜 クリームソース煮



作り方

- (1) 秋サケに塩、こしょうをして、薄力粉をはたき、熱したフライパンにオリーブ油を入れ、中火で両面を焼き上げて仕上げに白ワインを回し掛ける。
- (2) (1) のフライパンから秋サケを取り出し、バター、タマネギ、ジャガイモ、シイタケを入れて弱火で軽く炒め、ソースの材料を入れ中火で煮詰めていく。
- (3) ソースにとろみがついてきたら、(1) の秋サケをフライパンに戻し、小松菜を入れサッと煮て、器に盛り付け出来上がり。

レシピ提供 / 永井智一(ながいともかず)
茨城県笠間市にある「天晴(旧キッチン晴人)」オーナーシェフ



材料 (2人分)

秋サケ切り身 2切れ
タマネギ(みじん切り) 1/2個
ジャガイモ中(スライスした物) 1個
シイタケ(みじん切り) 2個
小松菜(ざく切り) 1/2束
ソース
水 1カップ
生クリーム 1/2カップ
ブイヨンキューブ 1個
砂糖 小さじ1/2
白ワイン 大さじ1
塩・こしょう・薄力粉 適宜
オリーブ油 大さじ1
バター 大さじ1

Aslogram

あぐろ
グラム

編集後記

旬がうれしい 京橋朝市

今回のあぐろグラムでは京橋朝市を紹介します。
岡山城や後樂園のたもとを流れる旭川には江戸時代から栄えた京橋があります。ここで毎月第1日曜日(1月は第2日曜日)に朝市が開催されています。新鮮な野菜や魚、手づくりパンなどさまざまな特産品が並び、日の出前からたくさんの来場客で賑わいます。

その他にも管内には女性部が運営している朝市があります。爽やかな朝の空気の中で買い物を楽しむと、よい一日が始まりそうな気持ちにきつとなれるはず。いつもとは違う朝に出会えるかもしれませんね。

編集担当 久山 隆一

